

第2章 教育行政

1	教育長及び教育委員	4
2	教育委員会のあゆみ	5
3	教育委員会事務局の組織	20
4	教育委員会の職員数	21

1 教育長及び教育委員



教育長 久保田 智子



教育長
職務代理者 山下 裕史



委員 森下果奈



委員 中野 稔雄



委員 三木 一正

(令和7年5月1日現在)

役 職 名	氏 名	就 任 年 月	委 員 現 任 期
教 育 長	く ぼ た と も こ 子 久保田 智子	令和 6 年 4 月 1 日	令和 6 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日
教 育 長 職務代理者	や ま し た ひ ろ ふ み 山 下 裕 史	令和 元 年 12 月 27 日	令和 5 年 12 月 27 日～令和 9 年 12 月 26 日
委 員	も り し た か な 森 下 果 奈	令和 2 年 4 月 1 日	令和 6 年 4 月 1 日～令和 10 年 3 月 31 日
委 員	な か の と し お 中 野 稔 雄	令和 4 年 7 月 1 日	令和 4 年 7 月 1 日～令和 8 年 6 月 30 日
委 員	み き か ず ま さ 三 木 一 正	令和 7 年 4 月 3 日	令和 7 年 4 月 3 日～令和 11 年 4 月 2 日

2 教育委員会のあゆみ

昭和27年10月 5日	教育委員の選挙が実施され次のとおり決定された。
20	4年委員 綾部先・熊谷栄次郎 2年委員 松本重雄・三輪礼三
11. 1	議会選出委員に林長四郎氏が決定された。
	姫路市教育委員会が設置された。
	事務局機構及び学校数(事務局)総務課、学校教育課、社会教育課、図書館の3課1館(学校)小学校27校、中学校14校、高等学校3校、幼稚園27園
	第1回の委員会の会議が開かれ互選の結果、初代委員長に綾部先氏、副委員長に熊谷栄次郎氏が決定された。教育長には、市の教育局長庄静夫氏が任命された。
28. 4. 1	教育長に庄静夫氏が再任された。
6. 29	議会選出委員林長四郎氏の辞任により議会から井上由信氏が選出された。
7. 1	正副委員長の改選により委員長に松本重雄氏、副委員長に三輪礼三氏が決定された。
29. 1. 6	正副委員長の改選により委員長に三輪礼三氏、副委員長に井上由信氏が決定された。
7. 1	旧曽左村外4村合併により小学校5校、中学校2校、幼稚園4園が移管され、小学校32校、中学校16校、幼稚園31園となった。
10	議会選出委員井上由信氏の辞任により、議会より尾上宇市氏が選出された。
15	正副委員長の改選により委員長に尾上宇市氏、副委員長に松本重雄氏が決定された。
30. 1. 17	正副委員長の改選により委員長に熊谷栄次郎氏、副委員長に三輪礼三氏が決定された。
4. 1	事務局内に教育研究所を新設
30	市議会議員選挙により議会選出委員に尾上宇市氏が再任された。
5. 25	議会選出委員尾上宇市氏の辞任により、議会より崎谷啓太郎氏が選出された。
7. 6	正副委員長の改選により委員長に松本重雄氏、副委員長に綾部先氏が決定された。
8.	バレーボールコート竣工
31. 7. 2	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の施行に伴い、同法第12条により委員長選挙の結果綾部先氏に決定し、委員長職務代行者に三輪礼三氏が指定された。
10. 1	新法に基づく教育委員会発足
	教育委員として、次のとおり任命された。
	4年委員・賀集音市 3年委員・大内為次 2年委員・米谷之克 1年委員・綾部 先
	4年委員・庄 静夫
	委員長選挙の結果、委員長は綾部先氏に決定し、委員長職務代行者に大内為次氏が指定され、教育長に庄静夫氏が任命された。
32. 4. 1	広畑小学校を分割、広畑第二小学校を設置、小学校33校
5. 11	綾部先氏が勤務先の人事異動により委員及び委員長を辞任された。
6. 1	委員長選挙の結果、米谷之克氏に決定し、委員長職務代行者に大内為次氏が再指定された。
10. 1	旧花田村外3村合併により、小学校4校、中学校2校、幼稚園3園が移管され、小学校37校、中学校18校、幼稚園34園となった。
33. 1. 1	旧神南町外2町村合併により、小学校6校、中学校4校、幼稚園6園が移管され、小学校43校、中学校22校、幼稚園40園となった。
4. 1	教育委員に中田英春氏が任命された。
	米谷之克氏が委員長を辞任された。
6. 5	委員長選挙の結果、大内為次氏に決定し、委員長職務代行者に賀集音市氏が指定された。
7. 16	事務局機構一部改革、体育課を新設
10. 3	米谷之克氏任期満了により辞任、再任された。

昭和34年 3月		姫路球場竣工
4.	1	書写中学校と白鳥中学校を統合し、大白書中学校を新設、中学校21校となった。
5.	1	旧大塩町合併により、小学校1校移管、小学校44校となった。
6.	4	大内為次氏委員長を辞任、委員長選挙の結果、賀集音市氏に決定し、委員長職務代行者に中田英春氏が指定された。
9.	21	米谷之克氏が一身上の都合により辞任された。
10.	10	大内為次氏任期満了により辞任、再任された。 米谷之克氏の後任委員として高馬睦男氏が任命された。
35.	4. 1	姫路市立書写養護学校を新設
6.		中央体育館竣工
	2	賀集音市氏委員長を辞任、委員長選挙の結果、賀集音市氏が再選され、委員長職務代行者に中田英春氏が再指定された。
7.	15	中田英春氏が勤務先の異動により辞任された。
10.	1	賀集音市氏、庄静夫氏任期満了により辞任、再任された。 中田英春氏の後任委員として笠井重雄氏が任命された。
36.	1. 1	賀集音市氏委員長を辞任、委員長選挙の結果、笠井重雄氏に決定し、委員長職務代行者に大内為次氏が指定された。
	3. 31	高馬睦男氏が一身上の都合により辞任された。
	8. 5	高馬睦男氏の後任委員として北野熊三氏が任命された。
	21	賀集音市氏病気療養のため辞任された。
37.	1. 1	笠井重雄氏委員長を辞任、委員長選挙の結果、大内為次氏に決定し、委員長職務代行者に北野熊三氏が指定された。
	4. 1	笠井重雄氏任期満了により辞任、再任された。 広畑第二幼稚園を新設、幼稚園41園 機構改革により旧総務課、学校教育課は改組され総務課、教職員課及び学校指導課となった。 兵庫県立手柄山青年の家が兵庫県から管理移管された。
	5. 1	別所幼稚園を新設、幼稚園42園
	8. 15	厚生会館竣工
	9. 25	賀集音市氏の後任委員として前田誠一氏が任命された。
	10. 3	北野熊三氏任期満了により辞任、再任された。
38.	1. 1	大内為次氏委員長を辞任、委員長選挙の結果、北野熊三氏に決定し、委員長職務代行者に笠井重雄氏が指定された。
	2. 21	前田誠一氏が一身上の都合により辞任された。
	7. 1	前田誠一氏の後任委員として崎谷啓太郎氏が任命された。
	8. 21	科学館竣工
	10. 10	大内為次氏任期満了により辞任、再任された。
39.	1. 1	委員長北野熊三氏委員長を辞任、委員長選挙の結果、笠井重雄氏に決定し、委員長職務代行者に大内為次氏が指定された。 ローラースケート場竣工
	4. 30	笠井重雄氏一身上の都合により委員長を辞任された。
	5. 1	委員長選挙の結果、大内為次氏に決定し、委員長職務代行者に崎谷啓太郎氏が指定された。
	7. 6	笠井重雄氏の後任委員として、揖場西乃氏が任命された。

昭和39年 9月		陸上競技場竣工
30		崎谷啓太郎氏、庄静夫氏、任期満了により辞任された。
10.	1	教育長職務代理者に、事務局総務課長中尾勇氏が任命された。
40.	1. 11	委員長職務代行者に、北野熊三氏が指定された。
	16	事務局に教育次長をおき、教育長職務代理者に教育次長中尾勇氏が任命された。
	4. 1	庄静夫氏、大江光次氏が教育委員として任命され、庄静夫氏が教育長に任命された。
	5. 1	委員長選挙の結果、北野熊三氏に決定し、委員長職務代行者に揖場西乃氏が指定された。
		太市幼稚園を新設、幼稚園43園
	7.	婦人会館竣工
41.	1. 1	庄静夫氏が教育長を辞任され、後任に大江光次氏が教育長に任命された。
	4. 1	揖場西乃氏任期満了により辞任、再任された。
		大塩幼稚園を新設、幼稚園44園
	5. 12	委員長選挙の結果、揖場西乃氏に決定し、委員長職務代行者に大内為次氏が指定された。
	10. 5	北野熊三氏任期満了により辞任、再任された。
42.	3. 5	旧林田町合併により小学校2校、中学校1校移管、小学校46校、中学校22校となった。
	4. 1	事務局機構を一部改革、施設課を新設
	5. 1	委員長選挙の結果、大内為次氏に決定し、委員長職務代行者に庄静夫氏が指定された。
	8. 8	大内為次氏、庄静夫氏、北野熊三氏が辞任され、後任に後藤秀夫氏、鎌谷春市氏、初井利吉氏が任命された。
	7. 10	厚生会館の庶務係と施設係を統合し管理係の一係制とする。 用地担当者主幹を配置。職名規則一部改正
	8. 11	委員長選挙の結果、後藤秀夫氏に決定し、委員長職務代行者に鎌谷春市氏が指定された。
	11. 1	大江光次氏教育長を辞任され、後任に鎌谷春市氏が教育長に任命された。 初井利吉氏が委員長職務代行者に指定された。
43.	4. 1	事務局の機構改革、部制を実施するとともに中央公園の各施設（厚生会館、科学館・体育施設・その他文化施設等）等を統合し中央公園施設管理事務所を設置 管理部（総務課・教職員課・施設課・中央公園施設管理事務所） 指導部（学校指導課・青少年課・社会教育課・保健体育課・教育研究所） 琴陵中学校薬師山に移設
	10. 10	後藤秀夫氏が委員長を辞任、委員長選挙の結果、初井利吉氏に決定し委員長職務代行者に揖場西乃氏が指定された。
	12. 16	大江光次氏が委員を辞任された。
44.	4. 1	鎌谷春市氏が任期満了により辞任、再任された。 大江光次氏の後任委員として井内喜久次氏が任命された。 広畑中学校を分割し、夢前中学校新設開校、中学校23校となる。
	6. 1	書写養護学校を移設
	9. 1	琴丘高等学校を移設
	10. 11	初井利吉氏が委員長を辞任、委員長選挙の結果、揖場西乃氏に決定し委員長職務代行者に井内喜久次氏が指定された。
	12. 1	鎌谷春市氏が教育長を辞任され、後任に井内喜久次氏が教育長に任命された。 後藤秀夫氏が委員長職務代行者に指定された。
45.	3. 31	揖場西乃氏が任期満了により委員を辞任された。

昭和45年 4月 1日	城北小学校を分割し、広峰小学校を新設開校、小学校47校となる。
4. 16	委員長選挙の結果、後藤秀夫氏に決定、委員長職務代行者に初井利吉氏が指定された。
7. 1	隅田太三氏が教育委員に任命された。
10. 4	初井利吉氏が任期満了により委員を辞任された。
5	初井利吉氏の後任委員として斎木亀治郎氏が任命された。
15	鎌谷春市氏が委員長職務代行者に指定された。
46. 4. 1	広峰幼稚園を新設開園、幼稚園45園となる。
16	後藤秀夫氏が委員長を辞任、委員長選挙の結果、鎌谷春市氏に決定し委員長職務代行者に隅田太三氏が指定された。
7. 1	事務局機構を一部改革、同和教育指導室、文化センター事務室を新設
10. 10	後藤秀夫氏が任期満了により辞任、再任された。
47. 4. 1	飾磨小学校を分割し、津田小学校を新設開校、小学校48校となる。
16	鎌谷春市氏が委員長を辞任、委員長選挙の結果、隅田太三氏に決定し委員長職務代行者に斎木亀治郎氏が指定された。
7. 20	姫路高等学校を移設
9. 1	津田幼稚園を新設開園、幼稚園46園となる。
10. 5	姫路市文化センター完成
11. 1	教育委員会発足20周年記念式
48. 2. 7	井内喜久次教育長逝去
3. 31	鎌谷春市氏が任期満了により委員を辞任された。
4. 1	事務局の機構改革、社会教育部、学校保健課、文化課を新設 管理部（総務課・教職員課・施設課） 指導部（学校指導課・学校保健課・同和教育指導室・教育研究所） 社会教育部（社会教育課・文化課・社会体育課・青少年課・図書館・中央公園施設管理事務所・文化センター）
3	田寺健三氏、石坂豊明氏が教育委員に任命された。 石坂豊明氏が教育長に任命された。
16	隅田太三氏が委員長を辞任、委員長選挙の結果、斎木亀治郎氏に決定し、委員長職務代行者に後藤秀夫氏が指定された。
49. 4. 1	大津、勝原、旭陽小学校を分割し、大津茂小学校を新設開校、小学校49校となる。
16	大津、勝原、旭陽幼稚園を分割し、大津茂幼稚園を新設開園、幼稚園47園となる。 斎木亀治郎氏が委員長を辞任、委員長選挙の結果、後藤秀夫氏に決定し、委員長職務代行者に田寺健三氏が指定された。
7. 1	隅田太三氏が任期満了により辞任、再任された。
10. 5	斎木亀治郎氏が任期満了により辞任、再任された。
50. 4. 1	姫路市高砂市中学校組合解消に伴い、東中学校、大塩中学校を新設開校、中学校25校となる。 林田幼稚園、伊勢幼稚園を新設開園、幼稚園49園となる。 御国野小学校、幼稚園を移設
4. 16	後藤秀夫氏が委員長を辞任、委員長選挙の結果、田寺健三氏に決定し、委員長職務代行者に隅田太三氏が指定された。
9. 1	高岡小学校、八木小学校を移設
10. 1	八木幼稚園を移設

昭和50年10月 9日		後藤秀夫氏任期満了により委員を辞任された。
12. 27		佐藤恭子氏が教育委員に任命された。
51. 4. 1		網干小学校を分割し、網干西小学校を新設開校、小学校50校となる。
		網干幼稚園を分割し、網干西幼稚園を新設開園、幼稚園50園となる。
16		田寺健三氏が委員長を辞任、委員長選挙の結果、隅田太三氏に決定し委員長職務代行者に斎木亀治郎氏が指定された。
52. 4. 1		事務局の機構改革、教職員課、文化課、中央公園施設管理事務所を廃止し、学校管理課、学務課、社 教文化課を新設 管理部（総務課・学校管理課・施設課） 指導部（学務課・学校指導課・学校保健課・同和教育指導室・教育研究所） 社会教育部（社教文化課・青少年課・社会体育課・図書館・文化センター）
4. 3		田寺健三氏、石坂豊明氏任期満了により辞任、再任された。
16		隅田太三氏が委員長を辞任、委員長選挙の結果、斎木亀治郎氏に決定し、委員長職務代行者に佐藤恭子氏が指定された。
53. 3. 31		佐藤恭子氏が一身上の都合により辞任された。
4. 1		佐藤恭子氏の後任委員として井上一巳氏が任命された。
		広嶺中学校を分割し、城乾中学校を新設開校、中学校26校となる。
		安室小学校を分割し、安室東小学校を新設開校、小学校51校となる。
		安室幼稚園を分割し、安室東幼稚園を新設開園、幼稚園51園となる。
16		斎木亀治郎氏が委員長を辞任、委員長選挙の結果、田寺健三氏に決定し、委員長職務代行者に隅田太三氏が指定された。
6. 30		隅田太三氏任期満了により委員を辞任された。
7. 1		隅田太三氏の後任委員として菅原経子氏が任命された。
6		委員長職務代行者に斎木亀治郎氏が指定された。
10. 4		斎木亀治郎氏任期満了により委員を辞任された。
5		斎木亀治郎氏の後任委員として宮本義郎氏が任命された。
31		委員長職務代行者に井上一巳氏が指定された。
54. 3. 27		教育研究所・視聴覚センター完成
4. 1		白鳥小学校、曾左小学校を分割し、峰相小学校を新設開校、小学校52校となる。
		大塩中学校、的形中学校を統合し、大的中学校を新設開校、中学校25校となる。
		白鳥幼稚園、曾左幼稚園を分割し、峰相幼稚園を新設開園、幼稚園52園となる。
		余部小学校を移設
16		委員長選挙の結果、田寺健三氏に決定した。
6. 1		事務局機構を一部改革、社教文化課を廃し、社会教育課、文化課を新設
12. 27		井上一巳氏任期満了により辞任、再任された。
55. 1. 21		余部幼稚園を移設
2. 20		砥堀幼稚園を移設
4. 1		高岡小学校を分割し、高岡西小学校を新設開校、小学校53校となる。
		高丘中学校を分割し、安室中学校を新設開校、中学校26校となる。
		高岡幼稚園を分割し、高岡西幼稚園を新設開園、幼稚園53園となる。
		谷内小学校、谷内幼稚園を移設
		社会教育課所管「老人大学」を市民活動部へ移管

昭和55年 4月16日		田寺健三氏が委員長を辞任、委員長選挙の結果田寺健三氏が再選され委員長職務代行者に宮本義郎氏が指定された。
56.	2. 26 4. 1 3 9 5. 9. 12. 1	城陽幼稚園、別所幼稚園を移設 事務局の機構改革、管理部、指導部、社会教育部を廃止し、次長2人制とする。 市史編集室、総合スポーツ会館新設 増位中学校、大塩小学校、安室幼稚園、大塩幼稚園を移設 田寺健三氏、石坂豊明氏任期満了により辞任、石坂豊明氏が再任され、田寺健三氏の後任委員として、岡田兼之氏が任命された。 委員長選挙の結果宮本義郎氏に決定し、委員長職務代行者に井上一巳氏が指定された。 総合スポーツ会館竣工 教育相談センター竣工 事務局機構一部改革、美術館開設準備室を新設
57.	4. 1 9 5. 6. 30 9. 12. 1	事務局機構一部名称変更、学校指導課を指導第一課に、同和教育指導室を指導第二課に変更 城北小学校を分割し、城乾小学校を新設開校、小学校54校となる。 城北幼稚園を分割し、城乾幼稚園を新設開園、幼稚園54園となる。 委員長選挙の結果宮本義郎氏が再選され、委員長職務代行者に井上一巳氏が指定された。 球技スポーツセンター竣工 菅原経子氏任期満了により委員を辞任された。 菅原経子氏の後任委員として氷室民雄氏が任命された。 事務局機構一部改革、美術館開設準備室を廃し、美術館を新設
58.	2. 3. 1 4. 1 9 7. 1 12. 27	豊富幼稚園を移設 曾左小学校を移設 水上小学校、大津小学校を分割し、増位小学校、南大津小学校を新設開校、小学校56校となる。 水上幼稚園、大津幼稚園を分割し、増位幼稚園、南大津幼稚園を新設開園、幼稚園56園となる。 大白書中学校を分割し、書写中学校を新設開校、中学校27校となる。 美術館開館 委員長選挙の結果宮本義郎氏が再選され、委員長職務代行者に岡田兼之氏が指定された。 井上一巳氏、氷室民雄氏が一身上の都合により辞任され、井上一巳氏の後任委員として萩原幽香子氏、氷室民雄氏の後任委員として安平和彦氏が任命された。 事務局機構一部改革、文化センターを市長部局へ移管、施設課、文化課を施設管理課、文化財課に名称変更（文化課所管の芸術文化部門を市長部局へ移管） 萩原幽香子氏任期満了により辞任、再任された。
59.	3. 4. 1 4. 1	伊勢小学校を移設 宮本義郎氏が委員及び委員長を辞任、桑原昭二氏を後任委員に任命。 岡田兼之氏を委員長に決定し、委員長職務代行者に萩原幽香子氏が指定された。 石坂豊明氏教育長辞任にともない、桑原昭二氏が教育長に任命された。 図書館花北分館開館 白鳥小学校を分割し、青山小学校を新設開校、小学校57校となる。 白鳥幼稚園を分割し、青山幼稚園を新設開園、幼稚園57園となる。
60.	2. 19 3. 10 4. 1	伊勢幼稚園を移設 網干幼稚園を改築 事務局機構一部改革、社会教育課に公民館係を設置

昭和60年 4月 2日	石坂豊明氏任期満了により委員を辞任
3	岡田兼之氏任期満了により辞任、再任され、石坂豊明氏の後任委員として崎谷文男氏が任命された。 委員長選挙の結果、岡田兼之氏が再選され、委員長職務代行者に萩原幽香子氏が指定された。
5	余部公民館を移設
11	糸引公民館を改築
17	山田公民館を改築
7. 1	事務局機構一部改革、美術館学芸課に学芸係を設置
61. 3. 17	灘浜野球場に夜間ナイター設備を設置
27	的形公民館を移設
4. 1	事務局機構一部改革、図書館建設準備室を設置し、学校保健課を指導第一課に統合、指導第一課は学 校指導係・学校体育係・学校保健係の3係となる。
3	委員長選挙の結果、岡田兼之氏が再選され、委員長職務代行者に萩原幽香子氏が指定された。
9	飾磨西公民館を新設
11	梯野外活動センター開所
18	太市公民館を改築
7. 1	安平和彦氏が任期満了により辞任、再任された。
30	大塩公民館移設
10. 5	桑原昭二氏が任期満了により辞任、再任され教育長に任命された。
62. 3. 28	東光公民館・図書館東光分館新設
31	図書館飾磨分館新設
4. 1	広畑中学校を分割し、大津中学校を新設開校、中学校28校となる。 事務局機構一部改革。施設管理課に庶務係を設置し、庶務・営繕・管理の3係となる。 旭陽公民館新設
3	委員長選挙の結果、岡田兼之氏が再選され、委員長職務代行者に萩原幽香子氏が指定された。
9	大津公民館移設
7. 1	事務局機構一部改革、美術館に総務課を設置し、2課となり、学芸課の学芸係を廃止
63. 2. 12	妻鹿公民館新設（サービスセンター併設）
27	豊富中学校屋外運動場に夜間照明設備を設置
4. 1	事務局機構一部改革、児童文化センターを市長部局へ移管、図書館建設準備室を日本城郭研究センター 開設準備室に名称変更 63年度全国高等学校総合体育大会姫路市実行委員会事務局を設置
4. 3	委員長選挙の結果、岡田兼之氏が再選され、委員長職務代行者に萩原幽香子氏が指定された。
4. 5	別所公民館新設
4. 12	四郷公民館改築
4. 15	峰相公民館新設
7. 12	市立中央体育館竣工
9. 20	八木公民館改築
9. 26	図書館白浜分館新設
9. 27	荒川公民館新設
10. 8	八幡公民館新設
10. 30	図書館安室分館新設
12. 31	本町野球場廃止

昭和64年 1月 1日	広畑野球場新設
平成元年 4. 2	岡田兼之氏任期満了により教育委員を辞任
4. 3	岡田兼之氏の後任委員として友定保雄氏が任命された。 委員長選挙の結果、萩原幽香子氏が委員長に選出され、委員長職務代行者に崎谷文男氏が指定された。
4. 10	谷内公民館新設
4. 15	曾左公民館改築 林田グラウンド新設
7. 1	事務局の機構を一部改革。教育部、文化部の2部を新設 従前の教育次長（2名）を廃職とし、理事級の教育次長（1名）を新設 市長部局から文学資料館開設準備室、文化センター、水族館、生涯学習大学校、老人大学校好古学園を移管。施設管理課を学校施設課に、文化財課を文化課に、社会教育課を生涯学習課に、社会体育課をスポーツ振興課に名称変更(市長部局の市民文化課で所管していた文化振興部門を文化課へ移管)
7. 5	崎谷文男氏委員長職務代行者を辞任
7. 6	委員長職務代行者に安平和彦氏が指定された。
9. 1	市立姫路高等学校に姫路高等学校音楽ホール（バルナソスホール）を新設
11. 1	白浜新開野球場新設
平成2年 2. 19	崎谷文男氏死亡により退職
3. 23	崎谷文男氏の後任委員として川口志ほ子氏が任命された。
4. 1	事務局の機構を一部改革。日本城郭研究センター開設準備室を廃し、図書館を城内図書館に名称変更 日本城郭研究センターを新設し、城内図書館及び城郭研究室を開設 大津幼稚園移転新築 豊富公民館移転新築 飾東公民館を移転新築し、谷外公民館に名称変更 津田公民館新築
4. 3	委員長選挙の結果、萩原幽香子氏が再選され、委員長職務代行者に安平和彦氏が指定された。
7. 21	姫路市立引原野外活動センターを新設し、少年自然の家を藤ノ木山野外活動センターに名称変更
10. 5	桑原昭二氏が教育長に再任された。
平成3年 3. 31	萩原幽香子氏教育委員を辞任
4. 1	萩原幽香子氏の後任委員として藤戸孝純氏が任命された。 事務局の機構を一部改革。文学資料館開設準備室を廃し、姫路文学館を開設 青山公民館及び飾磨東公民館を新設 図書館西分館を移転し、網干分館に名称変更 図書館青山分館を新設 高浜幼稚園を移転新築
4. 3	委員長選挙の結果、友定保雄氏が委員長に選出され、委員長職務代行者に安平和彦氏が指定された。
7. 1	事務局の機構を一部改革。文化部から社会教育部を分離新設し3部制とし、総務課及び学校施設課を教育次長直轄とした。生涯学習課の社会教育係を総務係に、家庭教育係を振興係に名称変更
9. 20	姫路キャスパホールを新設
10. 5	花の北公民館、城乾公民館及び安室公民館を新設
平成4年 4. 1	教育相談センターを教育研究所から分離し、課相当の組織とした。 砥堀公民館を新設
4. 3	委員長選挙の結果、友定保雄氏が委員長に選出され、委員長職務代行者に安平和彦氏が指定された。

平成4年 5月 1日	(財)姫路保健スポーツ事業協会及び(財)姫路海洋体育事業協会の2法人を解散し、新たに(財)姫路市スポーツ振興財団を設立
平成5年 3. 31 4. 1 4. 3 4. 29	桑原昭二氏、安平和彦氏が一身上の都合により、辞任された。 桑原昭二氏の後任委員として前田一忠氏、安平和彦氏の後任委員として尾上壽男氏が任命された。 前田一忠氏が教育長に任命された。 事務局の機構を一部改革。科学館を廃し、姫路科学館に改めた。 広嶺公民館、城の西公民館、城陽公民館を新設 委員長選挙の結果、藤戸孝純氏が委員長に選出され、委員長職務代行者に川口志ほ子氏が指定された。 姫路科学館を新設
平成6年 4. 1 4. 3 7. 1 10. 5	事務局の機構を一部改革。書写の里・美術工芸館を新設 手柄公民館を新設 図書館広畑分館及び手柄分館を新設 広畑トレーニングルームを新設 書写中学校を移転新築 委員長選挙の結果、藤戸孝純氏が再選され、委員長職務代行者に川口志ほ子氏が指定された。 書写の里・美術工芸館が開館 前田一忠氏が教育長に再任された。
平成7年 4. 1 4. 3 6. 16 6. 24 7. 1 9. 30 10. 1 12. 26 12. 27	事務局の機構を一部改革、兵庫県立手柄山青年の家の取得により姫路市手柄山青年の家を新設 高岡西公民館・南大津公民館・大津茂公民館を新設 委員長選挙の結果、藤戸孝純氏が再選され、委員長職務代行者に川口志ほ子氏が指定された。 前田一忠氏が一身上の都合により、辞任された。 前田一忠氏の後任委員として、井上隆溥氏が任命された。 井上隆溥氏が教育長に任命された。 友定保雄氏が任期満了により辞任 友定保雄氏の後任委員として櫛橋勇氏が任命された。 藤戸孝純氏が任期満了により委員及び委員長を辞任 藤戸孝純氏の後任委員として三宅知行氏が任命された。委員長選挙の結果、川口志ほ子氏が委員長に選出され、委員長職務代行者に櫛橋勇氏が指定された。
平成8年 4. 1 5. 25 12. 27	事務局の機構を一部改革。姫路城管理事務所を市長事務部局から移管し、新設。船場公民館、網干西公民館を新設し、飾磨西公民館を英賀保公民館に名称変更。姫路文学館に総務課及び学芸課を新設 指導第一課に生徒指導係を新設 姫路文学館南館が開館 委員長選挙の結果、川口志ほ子氏が再選され委員長職務代行者に櫛橋勇氏が指定された。
平成9年 4. 1 4. 2 4. 3	事務局の機構を一部改革。指導第一課を学校指導課に、同課学校指導係を指導係に、学校体育係を体育安全係に、学校保健係を保健給食係に、指導第二課を人権教育課に名称変更。図書館東分館を新設 安室公民館を安室東公民館に名称変更し、安室公民館を新設。花田公民館を改築 川口志ほ子氏が任期満了により委員及び委員長を辞任 川口志ほ子氏の後任委員として上田眞子氏が任命された。委員長選挙の結果、櫛橋勇氏が委員長に選出され、委員長職務代行者に尾上壽男氏が指定された。
平成10年 4. 1 4. 3 6. 30	城巽幼稚園を休園 委員長選挙の結果、櫛橋勇氏が再選され、委員長職務代行者に尾上壽男氏が指定された。 尾上壽男氏が任期満了により委員及び委員長職務代行者を辞任

平成10年 7月 1日	尾上壽男氏の後任委員として藤森春樹氏が任命された。委員長職務代行者に三宅知行氏が指定された。
10. 4	井上隆溥氏が任期満了により教育長を退任された。
10. 5	井上隆溥氏の後任に、高岡保宏氏が教育長に任命された。
10. 7	厚生会館を廃止
11. 1	野里公民館を新設
平成11年 4. 1	網干西幼稚園を休園。城北公民館、城南公民館を新設し、広嶺公民館を広峰公民館に名称変更
4. 3	委員長選挙の結果、櫛橋勇氏が再選され、委員長職務代行者に三宅知行氏が指定された。
12. 27	三宅知行氏が任期満了により委員を辞任、再任された。
平成12年 3. 29	手柄山体育館を廃止
4. 1	城東、飾磨、広畑公民館を新設し、飾磨東公民館を高浜公民館に、東光公民館を東公民館に名称変更
4. 3	委員長選挙の結果、櫛橋勇氏が再選され、委員長職務代行者に三宅知行氏が指定された。
平成13年 4. 1	事務局の機構を一部改革。スポーツ振興課内に国体準備室を設置 白鳥、白浜公民館を新設 伊勢幼稚園を休園 城東、林田幼稚園において4歳児保育を試行
4. 2	櫛橋勇氏が任期満了により委員及び委員長を辞任
4. 3	櫛橋勇氏の後任委員として石見満壽太氏が任命された。 上田眞子氏任期満了により辞任、再任された。
4. 6	姫路城防災センターを新設
4. 11	委員長選挙の結果、藤森春樹氏が委員長に選出され、委員長職務代行者に三宅知行氏が指定された。
7. 19	市民プラザ（姫路市民ギャラリー及び姫路市民アリーナ）を新設
平成14年 4. 1	伊勢幼稚園を再開 南大津、余部幼稚園を休園 飾磨、網干幼稚園において4歳児保育を試行
4. 10	委員長選挙の結果、藤森春樹氏が再選され、委員長職務代行者に三宅知行氏が指定された。
6. 30	藤森春樹氏が任期満了により委員及び委員長を辞任、再任された。
7. 1	委員長選挙の結果、藤森春樹氏が再選され、委員長職務代行者に三宅知行氏が指定された。
9. 19	石見満壽太氏が一身上の都合により、辞任された。
10. 4	石見満壽太氏の後任委員として、白子忠男氏が任命された。
10. 5	高岡保宏氏が任期満了により辞任、再任され、教育長に任命された。
平成15年 4. 1	余部幼稚園を再開 英賀保、八幡幼稚園において4歳児保育を試行
6. 24	委員長選挙の結果、藤森春樹氏が再選され、委員長職務代行者に三宅知行氏が指定された。
7. 1	事務局の機構を一部改革。学校指導課内に中学校給食推進室を、青少年課内に学童保育推進室を設置
12. 1	青少年センターを新設
12. 26	三宅知行氏が任期満了により委員及び委員長職務代行者を辞任
12. 27	三宅知行氏の後任委員として、和田長平氏が任命された。
平成16年 1. 9	委員長職務代行者に上田眞子氏が指定された。
4. 1	城南幼稚園を休園 安室東、御国野幼稚園において4歳児保育を試行 事務局の機構を改革、教育総務部、教育企画課を新設 社会教育部及び文化部を統合し、生涯学習部を設置

		青少年課内の学童保育推進室を教育企画課へ、スポーツ振興課内の国体準備室を市長部局へ移管 青少年課を廃止、同課事業を青少年センターに一元化し、生涯学習課に移管 教育部を学校教育部に、老人大学校好古学園を好古学園大学校に名称変更 総務課企画調整係を総務係に名称変更 総務課職員係及び経理係を統合し、経理係を設置 教育総務部（総務課、教育企画課、学校施設課） 学校教育部（教職員課、学校指導課、人権教育課、教育研究所、教育相談センター、少年愛護センター） 生涯学習部（生涯学習課、スポーツ振興課、文化課、市史編集室、水族館、生涯学習大学校、好古学園大学校、姫路科学館、総合スポーツ会館、文化センター、美術館、城郭研究室、城内図書館、姫路城管理事務所、姫路文学館、書写の里・美術工芸館）
6. 24		委員長選挙の結果、藤森春樹氏が再選され、委員長職務代行者に上田眞子氏が指定された。
7. 31		白子忠男氏が一身上の都合により、辞任された。
9. 4		白子忠男氏の後任委員として、浅江季典氏が任命された。
平成17年	4. 1	谷内幼稚園を休園 青山、旭陽、大塩幼稚園において4歳児保育を試行 勝原公民館を勝原市民センターから分離し、単独館として新設
	4. 2	上田眞子氏が任期満了により委員及び委員長職務代行者を辞任
	4. 3	上田眞子氏の後任委員として、井上裕子氏が任命された。
		浅江季典氏が任期満了により辞任、再任された。
	4. 13	委員長職務代行者に浅江季典氏が指定された。
	6. 22	委員長選挙の結果、藤森春樹氏が再選され、委員長職務代行者に浅江季典氏が指定された。
	7. 1	埋蔵文化財センターを新設
	9. 30	手柄山青年の家を廃止
平成18年	3. 27	旧家島町他3町合併により、小学校14校、中学校7校、幼稚園12園が移管され小学校71校、中学校35校、幼稚園69園となった。
	3. 31	高岡保宏氏が一身上の都合により、辞任された。
	4. 1	高岡保宏氏の後任に、松本健太郎氏が教育長に任命された。 広峰、白浜、大津幼稚園において4歳児保育を試行 事務局の機構を一部改革。スポーツ振興課内に体育施設管理室を設置 そうめん滝キャンプ場、音楽演劇練習場、市民プラザ、総合スポーツ会館等、文化センター、姫路キャスパホールに指定管理者制度導入 広畑第二公民館を新設 城乾公民館を城乾市民センターから分離し、単独館として新設
	6. 30	藤森春樹氏が任期満了により委員及び委員長を辞任
	7. 1	藤森春樹氏の後任委員として、瀧谷泰博氏が任命された。
	7. 3	委員長選挙の結果、浅江季典氏が委員長に選出され、委員長職務代行者に和田長平氏が指定された。
	10. 5	松本健太郎氏が任期満了により辞任、再任され、教育長に任命された。
平成19年	6. 25	委員長選挙の結果、浅江季典氏が再選され、委員長職務代行者に和田長平氏が指定された。
	7. 1	事務局の機構を一部改革。生涯学習大学校、好古学園大学校、姫路城管理事務所を市長部局に移管 文化課を文化財課に名称変更（文化課所管の文化振興部門を市長部局に移管） 生涯学習課の総務係、振興係、公民館係を廃止
	12. 27	和田長平氏が任期満了により辞任、再任され、委員長職務代行者に和田長平氏が指定された。

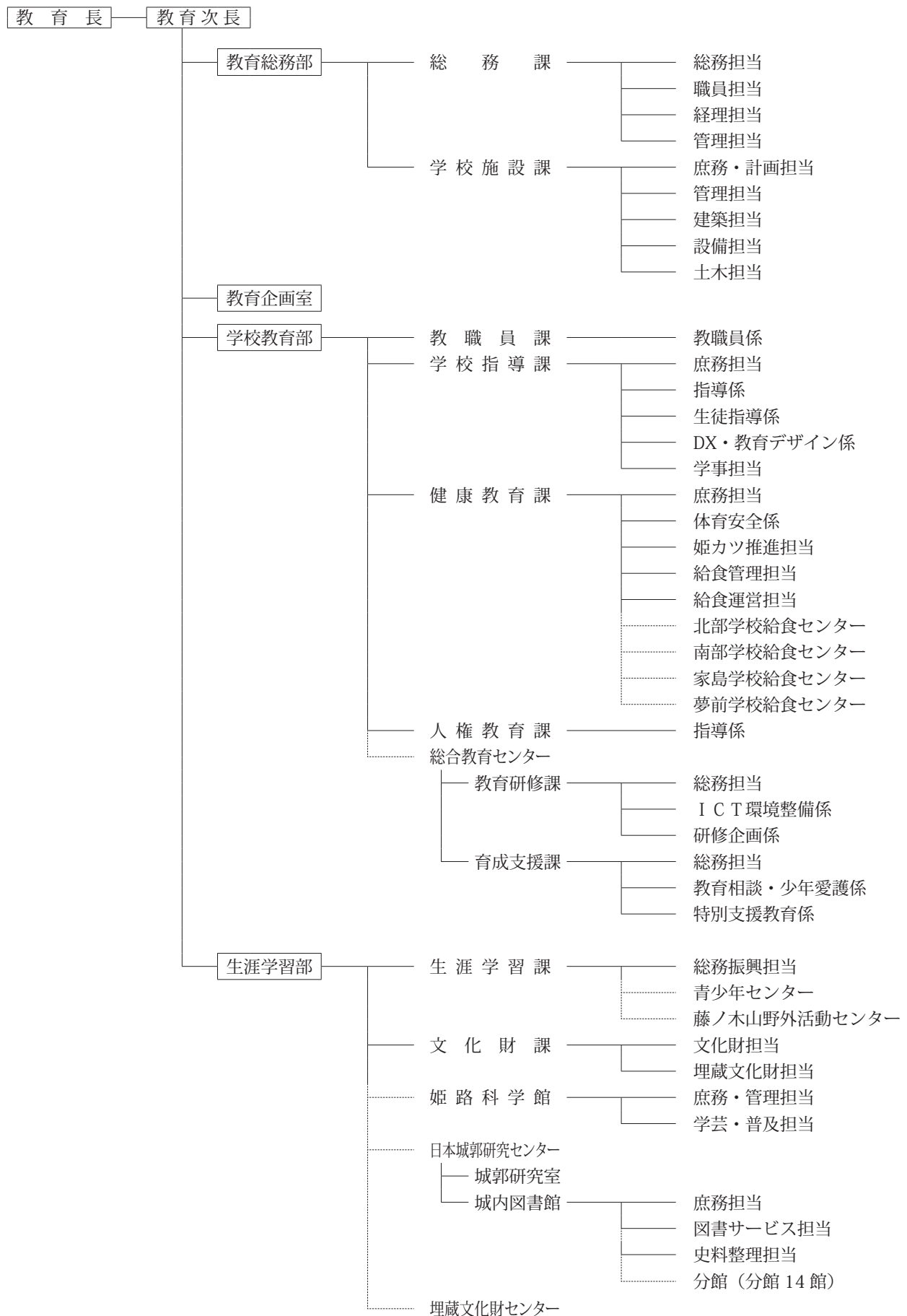
平成20年 3. 31 4. 1 6. 25	野里、峰相、城巽、城南、広畑、南大津、網干西、谷内幼稚園を廃園 教育委員に尾種正治氏が任命された。(教育委員 6人体制) 砥堀、高岡西、東、伊勢、山之内幼稚園を休園 谷外、太市、城乾、曾左、広畑第二幼稚園において4歳児保育実施 太市幼稚園移転新築 事務局の機構を一部改革。スポーツ振興課を市長部局に移管 学校教育部内に学事・保健課を新設し、総務課から学事係、学校指導課から体育安全係、保健給食係及び中学校給食推進室を移管し、学事・保健課内に保健係、体育安全係、給食係及び学事係を設置 教育企画課内に教育創造プログラム推進室を、学校指導課内に小中一貫教育推進係を設置 古知公民館を設置 委員長選挙の結果、浅江季典氏が再選され、委員長職務代行者に和田長平氏が指定された。
平成21年 3. 31 4. 1 4. 2	城巽、城南小学校を廃校 増位、高岡西、船場幼稚園を廃園 白鷺小学校(小中一貫教育推進モデル校)を開校 砥堀幼稚園を再開 八木、余部幼稚園を休園 砥堀、水上、城西、高岡、城陽、手柄、船津、山田、別所、的形幼稚園において4歳児保育実施 事務局の機構を一部改革。総務課の総務係、経理係、教育企画課の教育創造プログラム推進室を廃止 浅江季典氏、井上裕子氏が任期満了により辞任、再任された。 委員長選挙の結果、浅江季典氏が再選され、委員長職務代行者に和田長平氏が指定された。
平成22年 3. 31 4. 1 4. 3 6. 30 7. 1 10. 4 10. 5	山之内小学校を廃校 城北、安室、白鳥、東、八木、大津茂、余部、伊勢、古知、山之内、苅野、香呂南幼稚園を廃園 教育研究所、教育相談センター、少年愛護センター及び視聴覚センターを廃止 安富学校給食センターを廃止 糸引、妻鹿、高浜、勝原、豊富、花田、四郷幼稚園において4歳児保育実施 糸引幼稚園移転新築 総合教育センターを新設 城巽公民館を新設 事務局の機構を一部改革。学事・保健課の学事係、保健係及び給食係を廃止 委員長選挙の結果、浅江季典氏が再選され、委員長職務代行者に和田長平氏が指定された。 瀧谷泰博氏が任期満了により委員を辞任 瀧谷泰博氏の後任委員として、松永剛典氏が任命された。 松本健太郎氏が任期満了により教育長を退任された。 松本健太郎氏の後任として、中杉隆夫氏が教育長に任命された。
平成23年 1. 31 3. 1 3. 8 4. 1	尾種正治氏が一身上の都合により委員を辞任された。 荒川幼稚園を新築 尾種正治氏の後任委員として、長谷川淳美氏が任命された。 小中一貫教育の全市展開 荒川、津田幼稚園において4歳児保育実施。全市立幼稚園の2年保育完全実施 増位公民館を新設 花の北公民館の名称を水上公民館に変更 事務局の機構を一部改革。学事・保健課内に家島学校給食センターを設置

平成23年	4.	3	委員長選挙の結果、浅江季典氏が再選され、委員長職務代行者に和田長平氏が指定された。
	7.	1	事務局の機構を一部改革。教育企画課を廃止し、学童保育推進室を市長部局に移管、総務課内に教育企画室を設置
	12.	26	和田長平氏が任期満了により委員及び委員長職務代行者を辞任された。
	12.	27	和田長平氏の後任委員として木谷憲一氏が任命された。 委員長職務代行者に井上裕子氏が指定された。
平成24年	3.	20	高岡幼稚園を新築
	3.	31	長谷川淳美氏が任期満了により委員を辞任された。
	4.	1	長谷川淳美氏の後任委員として高橋朋子氏が任命された。 伊勢公民館を新築
			事務局の機構を一部改革。総務課内の教育企画室、育成支援課内の少年支援センターを廃止
	4.	3	委員長選挙の結果浅江季典氏が再選され、委員長職務代行者に井上裕子氏が指定された。
平成25年	4.	1	高岡公民館を新築
	4.	2	浅江季典氏が任期満了により委員及び委員長を辞任 井上裕子氏が任期満了により委員及び委員長職務代行者を辞任
	4.	3	浅江季典氏、井上裕子氏の後任委員として、田寺和徳氏、吉田眞子氏が任命された。 委員長選挙の結果、松永剛典氏が委員長に選出され、委員長職務代行者に木谷憲一氏が指定された。
平成26年	4.	1	林田、香呂幼稚園移転新築 上菅幼稚園を休園
			事務局の機構を一部改革。学事・保健課を健康教育課、教育支援課を教育研修課に名称変更 総務課内に企画係を、健康教育課内に学校給食推進室を、教育研修課内に研修企画・ICT係、研究開発係を、育成支援課内に教育相談係、自立支援係、非行防止・少年愛護係、特別支援教育係を設置
	4.	3	委員長選挙の結果、木谷憲一氏が委員長に選出され、委員長職務代行者に田寺和徳氏が指定された。
	6.	30	松永剛典氏が任期満了により委員を辞任された。
	7.	1	松永剛典氏の後任委員として木花厚生氏が任命された。
	10.	5	中杉隆夫氏が任期満了により辞任、再任され、教育長に任命された。
平成27年	3.	31	妻鹿、上菅幼稚園を廃園
	4.	1	砥堀、太市、船津、山田、的形、林田、香呂幼稚園を幼保連携型認定こども園へ移行、市長部局に移管 白浜幼稚園において3歳児保育モデル実施開始
			事務局の機構を一部改革。総務課の企画係を廃止し、総務担当を総務企画担当に名称変更、育成支援課の自立支援係を廃止
	4.	3	委員長選挙の結果、田寺和徳氏が委員長に選出され、委員長職務代行者に木花厚生氏が指定された。
	6.	30	夢前公民館を廃止
	7.	1	前之庄公民館を開館
	12.	27	木谷憲一氏が任期満了により辞任、再任された。
平成28年	3.	31	引原野外活動センターを廃止
	4.	1	英賀保幼稚園において3歳児保育モデル実施開始 上菅、苅野公民館を開館
			事務局の機構を一部改革。育成支援課の非行防止・少年愛護係を教育相談・少年愛護係に変更 高橋朋子氏が任期満了により辞任、再任された。
	4.	3	委員長選挙の結果、木花厚生氏が委員長に選出され、委員長職務代行者に高橋朋子氏が指定された。
	6.	11	水族館開館 50 周年

平成28年	7. 15	科学館リフレッシュオープン
	7. 30	文学館リニューアルオープン
	10. 1	安室東公民館を安室市民センターから分離し、単独館として移設
平成29年	4. 1	前之庄幼稚園を幼保連携型認定こども園へ移行、市長部局に移管
	4. 3	田寺和徳氏、吉田眞子氏が任期満了により辞任、再任された。
	10. 1	委員長選挙の結果、田寺和徳氏が委員長に選出され、委員長職務代行者に吉田眞子氏が指定された。
		北部学校給食センターが竣工（平成 29 年 12 月から 3 校、平成 30 年 1 月から 6 校で給食を試行実施、平成 30 年 4 月から 16 校で本格実施）
平成30年	3. 31	中杉隆夫氏が一身上の都合により、教育長を辞任された。
	4. 1	中杉隆夫氏の後任として、松田克彦氏が教育長に任命された。
		白鷺小中学校（義務教育学校）を開校
		事務局の機構を一部改革。総務課に教育企画室を新設し、健康教育課の学校給食推進室を廃止
		図書館飾磨分館等に指定管理者制度を導入
		高橋朋子氏が教育長職務代理者に指名された。
	6. 30	木花厚生氏が任期満了により委員を辞任された。
	7. 1	木花厚生氏の後任委員として松本眞一郎氏が任命された。
平成31年	4. 1	四郷学院（義務教育学校）を開校
		事務局の機構を一部改革。総務課内の教育企画室を廃止し、教育企画課を設置
		飾磨橋東公民館を開館
		吉田眞子氏が教育長職務代理者に指名された。
	4. 13	図書館花北分館リニューアルオープン
令和元年	12. 26	木谷憲一氏が任期満了により委員を辞任された。
	12. 27	木谷憲一氏の後任委員として山下裕史氏が任命された。
令和2年	3. 2	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校園及び社会教育施設を臨時休業
	3. 31	高橋朋子氏が任期満了により委員を辞任された。
	3.	小・中学校等にエアコンの整備完了
	4. 1	高橋朋子氏の後任委員として森下果奈氏が任命された。
		松本眞一郎氏が教育長職務代理者に指名された。
		豊富小中学校（義務教育学校）を開校
		中寺幼稚園を幼保連携型認定こども園へ移行、市長部局に移管
		グリーンステーション鹿ヶ壺を市長部局に移管
		事務局の機構を一部改革。学校施設課の建設第一担当、建設第二担当、機械設備担当、電気設備担当を統合し、建築・設備担当を設置、健康教育課に庶務・保健担当を新設し、給食企画担当及び給食運営担当を統合し、給食担当を設置、教育研修課の研修企画・ICT係をICT・研究開発係に、研究開発係を研修企画係に変更
	6. 1	学校園及び社会教育施設の再開
令和3年	2.	児童生徒1人1台の学習用端末の整備完了
	3. 31	松田克彦氏が任期満了により、教育長を辞任された。
	4. 1	松田克彦氏の後任として、西田耕太郎氏が教育長に任命された。
		山下裕史氏が教育長職務代理者に指名された。
		水族館を市長部局に移管
		置塩幼稚園を休園

令和3年 4. 1	事務局の機構を一部改革。教育企画課を廃止し、教育企画室を設置し、健康教育課に公会計・無償化担当を新設し、学校指導課の小中一貫教育推進係を小中一貫教育・ICT教育推進係に、教育研修課のICT・研究開発係をICT環境整備係に変更
4. 2	田寺和徳氏、吉田眞子氏が任期満了により委員を辞任された。
4. 3	田寺和徳氏、吉田眞子氏の後任委員として角谷信子氏が任命された。(教育委員 4名体制)
7. 1	日本城郭研究センターリフレッシュオープン
11. 1	南部学校給食センターが竣工(令和4年1月から3校で給食を試行実施、令和4年2月から12校で本格実施)
令和4年 3. 31	置塩幼稚園を廃園
4. 1	森下果奈氏が教育長職務代理者に指名された。 豊富幼稚園を休園 美術館、姫路文学館、書写の里・美術工芸館及び公民館を市長部局に移管 事務局の機構を一部改革。健康教育課の庶務・保健担当及び公会計・無償化担当を廃止
6. 30	松本眞一郎氏が任期満了により辞任された。
7. 1	松本眞一郎氏の後任委員として中野稔雄氏が任命された。
令和5年 3. 31	梯野外活動センターを廃止 豊富幼稚園を廃園
4. 1	角谷信子氏が教育長職務代理者に指名された。 あかつき中学校(夜間中学)を開校 四郷幼稚園を幼保連携型認定こども園に移行、市長部局に移管
7. 1	事務局の機構を一部改革。教育企画室内に新市立高等学校推進室を新設、健康教育課の給食担当を廃止し、庶務担当、給食管理担当、給食運営担当を設置
12. 27	市史編集室を廃止し、城内図書館内に史料整理室を新設 山下裕史氏が任期満了により辞任、再任された。
令和6年 3. 31	そうめん滝キャンプ場を廃止 西田耕太郎氏が任期満了により、教育長を辞任された。
4. 1	西田耕太郎氏の後任として、久保田智子氏が教育長に任命された。 森下果奈氏が任期満了により辞任、再任された。 中野稔雄氏が教育長職務代理者に指名された。 大塩幼稚園を幼保連携型認定こども園へ移行、市長部局に移管 菅生幼稚園を休園
令和7年 3. 31	城西幼稚園、菅生幼稚園を廃園
4. 1	山下裕史氏が教育長職務代理者に指名された。 事務局の機構を一部改革。総務課内に管理担当、健康教育課内に姫カツ推進担当を新設し、教育企画室の新市立高等学校推進室、城内図書館の資料担当を廃止し、学校施設課の庶務担当を庶務・計画担当に変更、建築・設備担当を廃止し、建設担当と設備担当を設置し、学校指導課の小中一貫教育・ICT教育推進係をDX・教育デザイン係に、城内図書館の庶務・システム担当を庶務担当に、奉仕担当を図書サービス担当に、史料整理室を史料整理担当に変更
4. 2	角谷信子氏が任期満了により辞任された。
4. 3	角谷信子氏の後任委員として三木一正氏が任命された。

3 教育委員会事務局の組織（令和7年4月1日現在）



4 教育委員会の職員数（令和7年4月1日現在）（除く教育長） ※ 教育参事は事務系職員に計上

[illegible]